

晋山結制とは

「晋山」の「晋」は進むという意味、「山」は高德寺の山号である稻荷山を意味します。

「結制」とは、お釈迦様が定められた制度にしたがい大勢の修行僧が集まり共に修行することです。ですから「晋山結制」とは、溪山雅廣和尚が二十九世住職として正式にお寺に入る就任の儀式のことです。この晋山結制を無事につとめ、雅廣和尚は正式に「大和尚」となり、緋の衣を着ることが許されま

安下処出発

前護持会理事長高橋誠一郎様宅より法衣を整え身支度をし、高德寺へ向かいます。大塚交流センターより稚児行列をなし古式ゆかしき大行進をいたします。

晋山式

安下処から高德寺山門に到着しますと晋山式の始まりです。山門にて入山の心境を述べ、諸役のご寺院様方に導かれ本堂へ進みます。御本尊様をはじめ道元禪師様、瑩山禪師様、開山歴代ご住職様方へ新任職としての決意を述べられます。

晋山開堂

「開堂」とは、仏教の教えを説き示す場所を開くことです。そのために法を説くところ（須弥壇）にのぼり、仏様や歴代住職、檀信徒のご先祖様などに、法語をお唱えします。その後、多くのご寺院様方と古式に則り大問答が行なわれます。

首座法戦式

首座和尚が住職に代わり、禅の修行や悟りについての問答を交わす儀式です。この度、首座の大役を務められる方は、雅廣和尚の弟子（長男）風雅さんです。風雅さんは、緊張と決意のもとに一生に一度の大問答に臨みます。

御礼とご挨拶

この度、御本寺林泉寺大方丈 菊池道喜老師をはじめ諸老師の導きのもと當山二十八世知照泰雄大和尚本葬儀、併せて拙僧晋山結制を執り行うにあたり多くの方々よりご厚情を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。先代住職の足跡を振り返ると、高德寺住職並びに常光院兼務住職としてはもちろん、地域社会活動にも邁進し、また教員として教壇に立ち多くの教え子さんに「泰坊先生」と慕われ続け、人々を愛し、その身命を布教教化に尽くしてこられました。その遺徳をしっかりと継承していく所存です。

昨今、経験のない感染症の広がりや自然災害により私たちの社会は不安や混乱の中にあ

り、さまざまな分断が現れ人間関係の希薄化が一層進んでいるようではありません。また、古来より私たちは、先祖を敬い御仏の教えに親しんで生きてまいりました。どんなに時代が変わろうとも人と人との温かなつながりを大切に檀信徒の皆さまと共に手を取り、お寺を地域の拠り所として歴史と伝統を守りながら歴代住職の歩みに習い精進して参ります。

皆様の今まで以上のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

高德寺新命住職 奥山雅廣 合掌

慶弔会のしおり

高德二十八世 知照泰雄大和尚 本葬儀
高德二十九世 溪山雅廣和尚 晋山結制
風雅上座 法戦式

令和四年四月十六日(土)・十七日(日) 厳修

曹洞宗 稻荷山 高德寺



高德寺 HP



QR コード